園部共同作業所ニュース　H12年12月　1日発行

園部共同作業所だより

園部共同作業所発行
〒622京都府船井郡園部町上木崎32
☎0771(62)3249

No 41

学院祭、お世話になりました

先日、当学院の学院祭に参加くださいましてありがとうございました。

保健所実習の事業の一貫して、共同作業所で実習させていただいたのがきっかけで、学生が開催する学院祭に共同出店していただき、すでに五～六年の歳月が流れました。作業所の方々の参加により学院祭を盛り上げてくださり、嬉しく思います。「僕たちも学院祭が楽しみなんですよー」と言ってくださいますが、作品が思うように売れなくて、申し訳ありません。

私が、実際の作業所の作品を見せて頂いた時、ガラス工芸の中でも、特殊な材料を使用し高温の作業になると伺って、作品を仕上げる為のアイデアと根気がなにより大切なことだと思いました。出来上がった作品の何とも言えない輝きとガラスの神秘的な創造性がその作品には感じられました。

今年も八名の学生が実習にお世話になりました。

学生は、爽やかに、明るく、笑顔で熱く語ってくださる所長さんに触れ、社会の中で調和しながら生きていく障害者の方の社会参加について、考えるきっかけになっています。そして、通所者の方ゝとの触れ合いが地域で生活する対象者の理解を深めています。学生にとって、自分たちが出来ることは何かを考え、少しでも、実践してくれたらいいと思っています。今年の学院祭では、新しい看板もでき、共に歩めていける喜びを感じています。

今後とも、宜しくお願いいたします。

公立南丹病院附属高等看護学院
教務主任　西村和子

バタヤン

作業所の皆んなは、彼のことをバタヤンと呼ぶ。なぜ‥昔レギターを抱えて“オス”と言つて現れる歌手が‥なるほど彼は作業所で一番歌がうまかったな。バタヤンは作業所の仕事も一番。手先が器用で特産ステンドグラス加工が出来るわけでもないのに、工賃を受け取るときは誰よりも高いトッブ賞なのであります。もちろん無遅刻、無欠席、仕事が忙しくなれば通院も勝手に休んで作業に励んでおります（後日主治医に大目玉をくらってます）車からの荷物の積み下ろし、これは誰も敬遠しがちなのですが、バタヤンは率先してやってくれます。（重い荷物の時など無理をしないよう注意するのですが聞いてくれません）彼は糖尿病なので毎日のインスリン注射、定期的な内科、眼科の検診は欠かすことが出来ません。食事は当然カロリーひかえめの野菜中心です。朝晩の食事はグルーブホームでとるので安心ですが、昼食は彼の買ってくろお弁当をいつもチェックしています。低血糖にならないよう作業の休憩時には、チョコレートで糖分の補給、これだけ対策をこうじているのに低血糖で意識がなくなり病院へかつぎこんで即入院が二回、スーパーマーケットでぶっ倒れ救急車で運ばれたのは一回、運よく異常状態を発見、すぐ砂糖水を飲んでことなきをえたのは数回、ともかく皆んなバタヤンの身体を心配しているのだから、俺は今が‥番幸せなんや、自分の体は自分が知っている、いつ死んでもかまへんのや、などとヤケにならないで、アルコールをやめ、たぱこもひかえ目に、いつも元気に作業所に通って来て下さい。何しろ仕事は真面目ながんばり屋のバタヤンだから。

所長　杉山俊夫

寄贈品

十月五日　丹波町障害児父母の会様　コーヒー詰め合わせ
十月六日　上田百合子様　お菓子
十月十八日　頓乗寺様　お菓子
十月二十三日　城島幹雄様　お菓子
十月二十六日　南丹病院附属看護学院様　お茶
十一月四日　谷口芳行様　お菓子
十一月七日　片山庄一様　柿

寄付金

十月十八日　原田祐章様
十一月十三日　鈴木須美子様

レクレーション

十月四日　ソフトボール試合　八名参加
桜が丘クイーンズと対戦、十三対四で完敗でした。

十月十九日　日帰り旅行　十五名参加
若狭フィッシャーマンズワーフ、エルドランド
雨のため蘇洞門めぐりに行けず残念でした。

十一月一日　南丹看護学院バザー　十四名参加
模擬店で昼食をとる。

十一月十六日　ハイキング　嵯峨大覚寺並び嵯峨の一帯
八名参加
雨が降り、大沢の池のほとりで弁当を食べられなかったのが残念でした。

十一月十九日　登山
音羽山

その他

十月十一日　体力測定
園部保健所にて
十一月八日　歯科診断
作業所で歯磨き指導を受けました。

またこんど蘇洞門めぐり

（平成十二年十月十八日（水））

中川京子

天気予報どうり適中の生憎の雨降り、皆んなの願いもむなしく傘を持っての日帰り旅行出発となりました。神楽坂トンネルの開通のお陰で福井県への近道ということで園部大橋を出発し日吉に向い由緒ある笛吹神社の由来を詳しく杉山先生に説明して頂き目的地に向かいました。御好意に甘え途中頓乗寺でトイレ休憩をお世話になり、温かいお茶を出して頂きました。有り難う御座いました。傘から流れ落ちる凄い雨。道の駅名田庄村休憩所に到着しましたが、此処も又定休日。「あゝついてないなあ」コーヒー飲みたかった人にはちょっぴり残念。運転手さんが途中乗船場に連絡を入れて下さいましたが波が高く蘇洞門めぐりは断念せざるを得ませんでした。そして若狭フィッシャーマンズワーフ海幸苑にて昼食。テーブルが狭しと並ぶ海の幸にやっと皆んなの顔から微笑が零れました。新鮮な美味しい御馳走に満足し、話が弾み楽しい食事が出来たことは嬉しいことです。目的地変更で若狭たかはまエルらんどに行きトロピカルワンダーではジャングルに生息する魚類や植物を集めた巨大温室を見学し、ジャングルでは仕事では見ることの出来ない楽しいお顔を拝見できたこと。青の里ギャラリーでは数々の体得されている「わざ」を目前にし、ステンドグラスにも見出して欲しく思いました。アイマックスツアーは映像の面白さに加え、上下左右と激しく動くライドは、何も知らずに乗った人は興奮というより恐怖だったかも知れませんが、最新の遊びにチャレンジし皆んなで体験し征服する事が出来一歩前進されたこと。いつも言葉少ない人が、車中で楽しくカラオケを唄っていられる姿を見て安堵しました。日吉ダムを見学し、ダム湖めぐりをしながら帰路にむかいました。蘇洞門めぐりはかないませんでしたが、又いつか行けると夢をおいつづけている方が素敵だと思います。夢を叶えてしまった人よりも叶えようとしている人の方が絶対にいい顔をして輝いていらっしゃいますもの。人は生きている中で、いい顔をしている時間をどれだけ多く過ごせるか、それで決まるような気がします。日帰り旅行は雨で蘇洞門めぐりは出来ませんでしたが楽しかったことをエネルギーに、又働く喜びを作業所で皆んなで分かち合いましょう。そして赤い羽根に感謝して。

交流試合

藤村清和

十月四日（晴れ）保津川グランドで桜が丘クインズ対園部共同作業所がソフトボールで対決しました。僕は試合前から緊張して眠たさもとおりしていました。最初は補欠でチームを温める役でした。友達の横ちやんは、レギュラ出場で頑張っていました。試合開始は午前十時でした。桜が丘クインズは最初から意気揚々と立ち向かつていました。

そして試合開始、やはり桜が丘クインズが先制点をあげ、園部共同作業所はしゅんとしてしまいました。やはりママさん野球の方が力が発揮して園部共同作業所はがっなりしています。そして四対一になってむかえた四回の表、園部共同作業所の攻撃で二死満塁で、Kさんの代打で私を告げられた時、胸がドキドキし、三十二年ぶりの野球出場でどうしららいいのかわからずただただ、ホームベースの右側へ立って力一杯にスイングするとセンター前へ久しぶりのヒットが出て一点追加、その時、杉山先生は大喜び、それをすきに二塁へ盗塁したがあえなくタッチアウトとなりよくばらなかったらよかったのになあと心に銘じた。それにしても三十二年ぶりのヒットとあって僕も大喜びでした。その裏喜びのつかの間、桜が丘クインズが、六点もいれなんとなく、桜が丘クインズの勝利は間違いなくなつてしまいました。そして七回表を終えて結果を見ると十三対四の成績で桜が丘クインズの大勝利となりました。僕は四打数三安打と猛打を発揮しましたが、横ちやんは四打数一安打と元気がありませんでした。勝たせてもらったなは知らんが、桜が丘クインズからスポーツドリンクが渡されみんな喜んで飲み試合をふりかえっていました。あんまり負けない園部共同作業所なのに今日は「かってが違う」と杉山先生はおっしゃった。それにしても僕の三二年ぶりのヒットは、杉山先生を喜ばしてしまったので「次回の交流試合も出場してほしい」とおっしゃったので、僕も「いいえ」と言うことが出来なかった。

おわり

編集後記

現在下請け作業は、正月のお年玉ポチ袋入れ・来年の干支置物セッ、詰め合わせで大わらわ。仕事がないよりまし、あるのはとても有り難いのやけど、どうして同時にくるのとちよっとぼやいています。